

経済経営研究所 サービス・イノベーション・プロジェクトにおけるビデオ完成について

神戸大学経済経営研究所
伊藤宗彦 教授

神戸大学経済経営研究所では、2007 年よりサービス・イノベーション研究についてプロジェクトとして取り組んでまいりました。その成果として、大学院、ビジネススクールなどにおいて、サービス産業の人材育成を行うための 18 本のビデオ教材を完成いたしました。ビデオ教材は、国内だけではなく、海外企業の取り組みに着目しており、欧州全域、米国、中国などのビジネスについて、その企業の取材・映像化を通じて、理論体系化してきました。さらに、教材作成は、神戸大学だけではなく、世界各国を代表するビジネススクール、研究機関との共同制作を進め、教材は一部、英語化し、海外でも活用されています。今後とも、英語による教材制作は進めてまいります。すでに、関連する内容の書籍も複数も刊行されています。

プロジェクトでは、革新的サービスを担う人材を育成するために、①教材や講義方法を新たに開発し、②大学院生や企業で働く実務者を受講対象と想定し、理論と実践を学べる、という内容を目指しています。その特徴は、経済学、マーケティング、経営戦略、会計学といった基本的な理論からサービスの本質を学び、さらに創造力の向上を目指すため世界の革新的なサービスの事例を映像による教材により実践的に学習できることを目指しています。

作成した教材は、すでに、神戸大学だけではなく、全国の大学で使用されており、受講者も数万人にも及ぶと思われます。当初、文部科学省の「産学連携による実践型人材育成事業ーサービス・イノベーション人材育成ー」という事業に参画いたしました。その後、内閣府社会経済研究所、神戸大学として、研究プロジェクトを進めてまいりました。プロジェクトの目的は、日本の労働人口の約7割が従事するサービス産業の生産性の向上をめざし、製造業においても、あらたな価値創造のために、ものづくりにあらたなサービスを付加したビジネスの創造を目指すものです。また、こうした人材育成プログラムについて、多くの企業が取り入れています。その間、サービス・イノベーションは、国内だけではなく、日本企業のアジアでの競争力の向上に大きく貢献したと思われま

本年度は、プロジェクトとして、コンピューターと社会という内容で、神戸大学のシステム情報学研究所、世界的なIT企業と共同により、2本の教材を制作いたしました。大変、貴重な映像、内容も含まれており、次週、文理融合のシンポジウムとして報告いたします。